

## 第三回ダイエット原料に関する国際会議 プログラム

2005年6月1日(水)

- 8 : 30 参加者歓迎
- 9 : 00 挨拶・Dr マーヴィン・アイデアス  
(フランス抗酸化学会会長)
- 9 : 05 ダイエットのマーケット紹介
- 中心会社とリーダーは？
  - 存在している商品、経口と化粧品
  - 2002, 3, 4年比較。成長は？
- (フランス、パリ、IMSヘルス、Nathalie Gyssler)
- 9 : 30 ダイエットのための様々戦略
- BMI (体格標準) と体重のタイプ：標準、やや肥満と肥満
  - 摂取カロリー縮小の問題：摂食障害と摂食亢進のサイン
  - 脂質摂取縮小
  - 行動に影響を及ぼす：運動とダイエット
- (フランス、ロリアン、南ブルターニュ病院、Dr Bernard Schmitt)
- 10 : 15 休憩
- 細胞段階と分子段階での新たな治療ターゲットとは？**
- 10 : 45 脂質代謝と炭水化物代謝の間にあるPPARs
- PPARsのイソ型
  - 役割とは？
  - 治療見通し
- 11 : 10 脂肪細胞と肥満症
- 肥満の場合の、炎症サイトカインの役割
  - 体重増加調整メカニズムの改悪、酸化ストレスのかかわり

合い

(フランス、ヴィルールバン、リヨン第一大学、Pr Alain Geloën)

11 : 35

ミトコンドリアと熱発生：エネルギー消費を増やせる方法

- 体重減少におけるミトコンドリアタンパク質（分解）
- その分野に関する見通し

12 : 00

飽満抑制に関する新しい情報。コレシストキニン（CCK）とグルカゴン・ライク・ペプチド1（GLP1）産出に影響を与える原料に関する研究

- CCKに影響を与える原料とは
- 新たな研究の結果による、独特な原料の効果を紹介

(オランダ、Wormerveer、リピド・ニュートリション、Dr Sandra Einerhand)

12 : 25

昼休み

### 体重減少を容易にする原料とは？

14 : 00

CLA：2005年3月16日に発表されたAFSSAの通知に対するSFAの反応

- 求められるダイエット効果に一致する異性体
- 量、効果、毒性に関する具体的な結果

(CLAの販売会社参加、Dr Bernard Schmitt 司会の円卓会議)

14 : 45

体重増加抑制の新コンセプト：ナトリウムとカリウムのアンバランス。ダイエット商品にカリウムを加える必要とは。

- ナトリウムとカリウムのバランスにおける塩分過剰摂取の効果
- 健康にあたるアンバランスの結果とは？肥満、タイプ2糖尿病、高血圧...
- カリウム・ナトリウムのバランスを取り戻す方法

(フランス、カロス、アルコファルマ社長、Dr Max Rombi)

15 : 15

ACTISOD（スイカエキス）カリウムとリコピンの主な源  
(日本、美麗インターナショナル、那須みずほ)

- 15 : 30 休憩
- 16 : 00 知られていて、効果が認められているダイエット原料  
(カードに参照)
- 16:05 ダイエット原料にかんするイノベーション  
「6分で納得させよう」  
プレゼンテーションが科学委員会に選ばれる発表を行う。テーマは：  
原料：独創性と新作用  
ターゲットとコンセプト  
生薬と調合
- 既に選ばれた発表：
- バナクシン（バナバのエキス）と糖質ホメオスタシス  
(日本、美麗インターナショナル、那須みずほ)
  - 女性専用ダイエット商品に鉄分を添加するべきか  
(フランス抗酸化学会、Dr Marvin Edeas)
  - ゴーヤーと海草の化合リポクシムと脂肪減量：  
温度発生の上昇と脂肪細胞の数と大きさを減少  
(日本、富士バイオテック、小板橋えり)
- 参加したい原料関係者の方は是非ご連絡ください
- 17 : 00 体重抑制に関する製薬会社のイノベーション
- 市場に存在している薬。将来の製品は？
  - 薬とサプリメントの境目とは？
- 17 : 30 一日目終了

**2005年6月2日(木)**

**ダイエット原料と化粧品**

- 09:00            **ダイエット商品の効能性：化学者の客観的な意見**
- 市場に出ているダイエット商品の得意な点と弱点
  - ダイエットパッチの効能性
  - ダイエット商品の調合、塗布方法、使用頻度
  - ダイエット商品を、子供や月閉経期女性のような場合、年齢と生理状態に適応させるべきか。
  - 男性用の原料。調合に関するルール
  - ダブル効果（ダイエット+日焼け止め、ダイエット+トニック）と記載されている商品の利益とは。
- （フランス、シャテウネーマラブリ、薬学大学、Dr Christine Lafforgue）
- 09:45            **ダイエット向きの化粧品とサプリメント：効能性の効率化**
- 生薬の最適な形
  - 原料のベストな組み合わせ方
  - 最高効果のため化粧品とサプリメントを組み合わせる必要があるのか？
- （フランス、シャテウネーマラブリ、薬学大学、Pr Jean-Paul Marty）
- 10:30            **休憩**
- 11:00            **体重の抑制：バイオリズムの問題？**
- （フランス、タレンス、ボルドー第1大学、Pr Alain Sarrieau）
- 11:25            **ペットの肥満**
- 動物の肥満は明白な事実か？
  - 市場で販売されている商品
- 11:45            **薬剤師の期待と消費者の要求：薬剤師の意見**
- 化粧品とサプリメント生産者の保証
  - 薬剤師が伝える必要の情報、イメージ。記載の適切さ
  - 化粧品とサプリメントの境目

- 12 : 30 昼休み
- 14 : 00 ダイエット原料：法規の場面
- ダイエット調合が法的に有効とされるのに、どんな規則を守るべき？
  - コミュニケーションに関する一般規則
  - 何を記載すればいい？「脂肪燃焼」「排水効果」「食欲削ぎ効果」
- (デウ・ヴェッキコンセーユ、Dr Helene de Vecchy)
- 14 : 45 ダイエット商品に対する新マーケティングコンセプト
- ダイエット商品に関するコミュニケーションとマーケティング戦略
  - 化粧品とサプリメントの傾向、流行。探知と定義（形、調合、ターゲット）
  - 化粧品とサプリメントに次ぐ新製品。ダイエット工業における実用的な食物の位置。食物産業とダイエット商品は適合できるのか
- 15 : 30 休憩
- 16 : 00 体重抑制におけるフィトセラピーの役割
- 医者に進められている植物原料
  - 植物の良いコンビネーション
- (フランス、ストラスブール、Dr Paul Strasbourg)
- 16 : 30 話し合い：ダイエット商品の将来
- ダイエット商品の形、媒体？商品の信頼性と安定性にあたる影響？パッチの例
  - ダイエット原料と食物を合わせるべきか。日常食品の例：ダイエットティー、ダイエットウォーター、ダイエットパスタ
  - 媒体をターゲットに適応させるべき？子供用の体重増加防止棒つきキャンディーの例
  - クロノバイオロジー、フィトセラピー、痕跡元素、抗酸化の中で、もっとも効果的なコンセプトがあるのか。コンセ

プトを一緒にしていいのか。効能性を判断するのに適切な  
標識は何なのか。

フランス抗酸化学会による「2005 年ダイエット原料」の発表

17 : 30          会議終了